

平成28年度事業報告書

自 平成28年4月 1日
至 平成29年3月31日

公益社団法人 東洋療法学校協会

事業の概要

東洋療法学校協会は、平成24年4月から公益社団法人に移行してから5年目となるが、あん摩・マッサージ・指圧、はり、きゆうに関する教育の調査研究及び教材等の開発、学術大会の開催、教員の研修、はき実技評価等を行うことにより、あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゆう師の学校（あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゆう師等に関する法律（昭和22年法律第217号）第2条第1項の規定に基づく学校又は養成施設をいう）の教育の振興と、国民の保健衛生の向上に寄与するために、定款に定める事業の推進と継続的發展を図り、あはきに関する普及啓発と安全性・技能向上に、より一層努めた。

1. 公益目的事業

1) 学術大会の実施と学会誌の発行事業

学術大会の開催と学会誌の発行を通じて、あはき師の学校教育の振興を図り、国民の保健衛生の向上に寄与した。

(1) 「第38回学術大会」

開 催 日：平成28年10月12日（水）

開 催 場 所：北とぴあ（東京都北区王子1-11-1）

大会テーマ：「あはきの可能性 —様々な現場で活躍するあはき師—」

参 加 校：31校

参 加 者 数：2,249名

主 管 校：東京医療専門学校

特 別 講 演：三 渚 忠道（福島県立医科大学漢方医学講座教授）

「地域医療の中のあはき師の役割」

特 別 講 演：泉 重樹（法政大学健康スポーツ学部准教授）

「スポーツ現場におけるあはき師の役割」

研究発表校：30校

演 題 数：口頭発表（14題）、ポスター（21題）

(2) 研究発表論文を集約した学会誌（第40号）を3,100部発行し、会員校・関係団体に販売と配布を行った。

2) 研修会事業

研修会を開催することにより、あはき師の学校教育の振興を図り、国民の保健衛生の向上に寄与した。

(1) 教員研修会の開催を通じて、教員により広い視点からの教育方法やあはきに関する知識を習得させ、資質の向上を図ることが出来た。

「第40回教員研修会」

開 催 日：平成28年8月2日（火）～8月3日（水）

開 催 場 所：大阪ガーデンパレス

大会テーマ：「専門学校の現状と課題、夢、未来！」

参 加 校：42校（内非会員校1校）

参 加 者 数：243名（内非会員校1名）

主 管 校：明治東洋医学院専門学校
教 育 講 演：三浦 真琴（関西大学教育推進部教授）
「学生をアクティブにする授業」
市民公開講座：矢野 忠（明治国際医療大学特任教授）
「超高齢社会における東洋医学の役割」

3) アンケートによる調査研究事業

(1) 入学者の構成に関するアンケート調査

平成28年度の入学生を対象に、第14回「入学者の構成に関するアンケート調査」を実施し、集計結果を参加校に配布と同時に学校協会ホームページに掲載を行った。アンケート事業は、公益事業であることから非会員校にも参加を呼び掛け、下記のとおり協力が得られたことにより調査内容に厚みを増すことが出来た。

「入学者の構成に関するアンケート調査」

調査月日：平成28年5月12日～平成28年5月31日

参加校：62校（内非会員校19校）

対象者：28年度入学生

参加者数：合計 2,966名

（内訳 あま指課程 224名、はき課程 1,802名、あはき課程 940名）

(2) あはき師免許取得者の進路状況アンケート調査

あはき師の学校・養成施設の卒業生が、国家試験に合格し、免許取得後にどのような場で活躍しているのかの職務状況、収入、施術患者数等のアンケート調査を、平成8年度から5年毎に実施し、平成28年度調査が第5回目であり、今後の学校教育・経営に資する貴重な基礎資料を得る事が出来た。アンケート事業は、公益事業であることから非会員校にも参加を呼び掛け、下記のとおり協力が得られた。調査結果については、小冊子に取り纏め参加校及び関係機関への配布と同時に、学校協会ホームページに掲載を行った。

「あはき師免許取得者の進路状況アンケート調査」

調査実施日：平成28年10月1日現在

調査対象者：会員校及び非会員校卒業生で、平成23年度から平成27年度までの国家試験に合格し、あはき師の免状を取得した者

参加校：47校（内非会員校3校）

調査対象者数：11,607名（調査客体数 10,904名）

回答者数：2,615名（回答率24%）

4) 実技評価事業

(1) はりきゅう実技評価

「はりきゅう実技評価委員会」に登録した実技評価者が、実技評価審査事業に参加を申し込んだ学校に赴き、「実施要領」に基づき鍼灸実技教育の到達レベルを客観的かつ統一的に評価試験を実施し、実技の質向上に努めた。

また、平成25年度からは実技評価に参加した学校・学生に対し、モチベーションを高めるために学校協会から認定証の発行を行っている。

「はりきゅう実技評価審査」

参 加 校：28校【詳細は、会議の開催及び運営状況に掲載（内非会員校1校）】
評価を受けた学生数：1,365名
派遣評価委員数：127名

5) 助成事業

この事業は、学校協会定款の目的に合致する他団体が実施する事業への助成を通じて、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の学校教育の振興を図り、国民の保健衛生の向上に寄与することを目的とするものである。

- (1) 学術大会研究発表校に対する助成 150万円（1校 @5万円×30校）
- (2) 助成団体 「国民のための鍼灸医療推進機構」 助成金額 100万円
- (3) つくばで開催されて世界鍼灸学会連合会学術大会（WFAS） 50万円

6) 教材の調査研究事業

新しい製品や教材、書籍が発売された際に、当該製品が学校協会から見て教材、書籍として良品であり、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の養成学校において使用することが適切であるかを検討している事業であるが、平成28年度は出版社等から書籍等の推薦依頼の申込みがなかった。

2. 収益事業等

1) 東洋療法に関する教科書等の作成及び改訂事業

(1) 改訂事業

(ア) 全面改訂

- ・「東洋医学臨床論」教科書の全面改訂に向けて、教科書検討小委員会で検討
- ・「スポーツ東洋療法ハンドブック」の全面改訂に向けて、平成27年度に小委員会を立ち上げ、東京オリンピック前の平成29年度中の発刊を目指して執筆・編集に取り組んでいる。

2) 模擬試験事業

あはき師国家試験に備えた模擬試験を実施することにより、問題作成のための勉強会や良質な試験問題作成等を通じて教員の資質向上や、学生のあはき師国家試験対策を図ることが可能となるため、第4回目の模擬試験事業を実施した。非会員校にも参加を呼び掛けた結果、下記の事業内容となった。

「第4回模擬試験」

- ・試験実施日 平成28年11月5日（土）～20日（日）
- ・参加校 65校（内非会員校 23校）
- ・受験者数 2,496名（内非会員校 444名）

3) 会員相互扶助

(1) 研修会事業

会員校の代表者及び教職員、非会員校の教職員等に対し、「あはき師学校養成施設カリキュラム等改善検討会」報告書内容に関する研修会の開催

- (ア) 企画調整部【出席者数92名（含む非会員校35校 35名）】

開催日：平成29年度3月14日（火） 16：00～17：00
開催場所：浜松町東京会館オリオンルーム（世界貿易センタービル39階）
研修内容：「あはき師学校養成施設カリキュラム等の見直しについて」
講師：厚生労働省医政局医事課 医事専門官 佐生 啓吾
医事係主査 立花慎太郎

研修内容：あはき師の養成カリキュラム改定に伴う通信制大学の活用
講師：人間総合科学大学 学務課広報 金子 裕一

(イ) 法制部【出席者数96名（含む非会員校5校 7名）】

【東日本】

開催日：平成28年度11月10日（木）14：00～16：00
開催場所：東京医療福祉専門学校
研修内容：「あはき師学校養成施設カリキュラム等改善検討会」報告書の詳細説明
講師：坂本 歩学校協会会長・長川 英樹放送大学学園教育課長
参加校数：31校（内非会員校 3校）
参加者数：61名（内非会員校 5名）

【西日本】

開催日：平成28年度11月17日（木）14：00～16：00
開催場所：森ノ宮医療学園専門学校
研修内容：「あはき師学校養成施設カリキュラム等改善検討会」報告書の詳細説明
講師：坂本 歩学校協会会長・鈴木 賢一放送大学学園教育課長補佐
参加校数：20校（内非会員校 2校）
参加者数：35名（内非会員校 2名）

(2) 会報事業

当協会の運営・活動状況を、会員校に情報提供するための会報を年4回発行し、各会員校及び監督官庁並びに関係諸団体等に配布を行った。

・会報 第107号～110号を発行

(3) 表彰事業

(ア) 各会員校の特別に優秀な卒業生に対し、その努力を称えるための「盾」を当協会会長から授与した。

・優秀卒業生数 43名

(イ) 学術大会での研究発表者に対し、当協会会長から「表彰状」を授与した。

・学術大会表彰者数 184名（30校）

4. その他

1) 厚生労働省医政局医事課に対し、①あはき師養成施設指導要領の見直し（必要単位数に最低授業時間数を併記）、②校外における実習等の認可、③講義・実習等への教員資格が無くても、高い専門性を持つ有識者の登用を認めて頂きたいとの要請を長年行ってきた結果、厚生労働省が平成27年度に「あはき学校養成施設カリキュラム等改善検討会」を設置し、平成28年度にかけて計5回の検討会が開催され、認定規則等の改正を踏まえた総単位数の引上げ・最低履修時間数の設定、臨床実習の在り方、専任教員の見直し等が報告書に纏められ、平成30年度から実施されることとなった。

(1) 学校協会では、「あはき学校養成施設カリキュラム等改善検討会」の報告書を受けて、報告書内容に対応するために、新カリキュラムワーキンググループを立ち上げて、教材・臨床実習マニュアル・実技評価・臨床実習指導者講習会・国試改善のあり方等について、精力的に話し合いが持たれた。

2) 平成29年2月実施の第25回あはき師国家試験問題等について、各会員校から意見を求め、国家試験検討委員会において協議取りまとめを行い、「第25回あはき師国家試験に対する意見」として、(公財)東洋療法研修試験財団理事長に提出をみた。

3) 各会員校とのネットワークの強化、各会員校の学生募集への寄与、あはきの普及啓発のためにホームページの充実を図っているが、その一環として会員校から「東洋雑学事典Q&A」の提出を頂き、ホームページに「東洋雑学事典Q&A」の掲載を引き続き行っている。

4) 広報活動の一環として「会員校名簿」「会員校要覧」及び「会員校学生募集要項」等の作成、リーフレットは部分的な見直しを図って会員校のほか行政機関、業界団体並びに一般関係者に対し情報提供の資料として活用を行った。

5) 昨年度に引き続いて、(公財)東洋療法研修試験財団が発行する「厚生労働大臣免許保有証」の申請手続きは、16校から99名の申込みがあった。

6) 事業推進のため、関係行政機関との連携を密にし、(公財)東洋療法研修試験財団、(公社)全日本鍼灸学会、あはき等法推進協議会、マッサージ等将来研究会、国民のための鍼灸医療推進機構等のほか教育団体及び関係団体との情報交換を密にし、相互協力・連携強化に務めた。